

第4回網走湖汽水環境保全方策検討委員会

議事要旨

日 時：令和5年3月8日

場 所：オホーツク・文化交流センター

(エコーセンター2000) 大会議室

1. 今年度における試行的対策の結果報告

(1) 事務局より資料1を用いて、今年度における試行的対策の結果概要を説明した。

(2) 主な意見は次の通り。

ア. 水温成層の有無についても、フェンス内の鉛直混合発生の有無に影響している可能性があるため、水温データも精査した方がよい。

イ. 適切な流速観測方法を確認したほうが良い。流速観測については、瞬時値ではなく平均値でしっかり全体的な流れを把握すること。

ウ. フェンス外 (St.5) は、フェンス (St.3) より湖口側にあり、塩分環境が良いと思われるので、底生生物等については別の地点でも観測した方がよいと思う。

エ. ヤマトシジミ調査では、死んだ貝の有無について確認した方がよい。

オ. 水温、塩分のデータからシジミ産卵時期を推定できる式がある。今年度の観測データを使用して、この式の精度を検証してはどうか。

2. 次年度における試行的対策の実施内容

(1) 事務局より資料1を用いて、次年度における試行的対策の実施内容を説明した。

(2) 主な意見は次の通り。

ア. 産卵に必要なのは 2.3PSU であることから、周囲の塩分+2.0PSU という目標は現実的には妥当だと思う。目標を変えるのは柔軟でとてもよいと思う。

イ. (他水域の事例をみても) 汽水環境の保持は非常に難しいことである。

ウ. 一年目の結果で様々な問題があるが、うまく行く方向を見いだせたと考える。